

大雨で復旧対応

奈良県三郷町、堺市

10月22、23日にかけて上陸した台風21号の影響で下水道施設に被害が相次いで発生しました。

奈良県三郷町では、立野汚水中継ポンプ場が水没し、機能を停止したため、同町では排水車でポンプ場の水を排出。管路協関西支部ではポンプ場へ流入する汚水をバキュームカーで別のポンプ場まで移送する作業を行いました。



ポンプ場に汚水が流入（三郷町提供）



敷地内でも浸水（三郷町提供）



汚水をバキュームカーで移送（三郷町提供）

関西支部が対応に尽力



バキュームカーで溢水対応（堺市）

堺市では、大阪府今池水みらいセンターで発生した堺市公共下水道の污水管の閉塞に伴い、10月24日夜に堺市内で污水溢水事故が発生。管路協関西支部では、同日から29日までバキュームカーで溢水対応に従事しました。

報告

災害支援活動

平成29年台風21号による 災害復旧支援活動報告

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会

平成29年10月23日に静岡県に上陸した台風21号により、全国各地で大きな被害が報告された。その中で、大阪府堺市と奈良県三郷町から当協会に対して10月24日に復旧支援の要請が出された。業務の実施状況は下記の通りである。

①大阪府堺市

平成29年10月24日午後1時すぎに大阪府今池処理場内で道路陥没が確認され、最終的には最深部深さ4.7m、面積115m²の規模となり、流出土砂量は268m³と推定されている。陥没箇所下部には堺市の公共下水道污水管（内径1,200mmのコンクリート管、土被り14m）が埋設されており、この管が満水状態となり内圧が働き破損し、周りの土砂が管内に流入したことが原因と考えられている。

陥没箇所の管は土砂で閉塞したことから、上流域で污水が溢れるという事態を招いた。堺市から10月24日、当協会に対して災害協定に基づいた支援の要請があった。要請の内容は、応急復旧までの間、処理場外の区域で、マンホールから溢れる污水を吸引して近くの雨水管へ放流する業務であった。要請を受けた当協会関西支部では、直ちに出勤できる会員を募り、10月24日の午後9時から現地で作業を開始した。作業は断続的ながら10月30日まで行われた。堺市での業務で前線基地責任者を務めたのは(株)サンダの田中勇作氏であり、出勤した会員は関西支部の15社で、下記の通りである。

(株)サンダ、(株)ケンセイ、(株)関西工業所、車谷環境設備(株)、(株)エコテクノ、(株)SYC、(株)アークス、大工園設備工業(株)、(株)ジンテック、京阪神道路サービス(株)、(株)アレイサービス、管清工業(株)、的場商事(株)、(株)杉優、八光興業(株)

本業務に関する堺市からの受託額は税抜きで22,102,000円であり、出勤会員への支払いは平成30年1月24日に完了した。台風21号に関する堺市の災害査定は1月23日に終了した。

②奈良県三郷町

平成29年10月23日の未明、大和川が氾濫し、川沿いに設置されている奈良県三郷町の立野ポンプ場が水没して機能停止に陥った。立野ポンプ場には污水の流入が継続していたので、立野ポンプ場へ送水しているマンホールポンプ場1カ所への污水を含めて応急復旧までの間、立野ポンプ場の送水先である奈良県流域下水道の信貴山ポンプ場へ污水を輸送する必要があった。奈良県三郷町は奈良県のアドバイスを受けて、10月24日に、当協会に対して污水の輸送を要請した。要請を受けた当協会関西支部では直ちに出勤できる会員を募り、10月24日の午後2時から現地で作業を開始した。

信貴山ポンプ場への輸送距離は、立野ポンプ場から2km、マンホールポンプ場から300m程度であり、立野ポンプ場とマンホールポンプ場に、それぞれ吸引車2台を配置し、24時間3交代で10月24日から31日までの8日間、輸送を行った。

三郷町での業務で前線基地責任者を務めたのは、管清工業(株)の武内靖樹氏で、出勤した会員は関西支部の4社、東山管理センター(株)、八光興業(株)、榎木工業(株)、管清工業(株)である。

本業務に関する三郷町からの受託額は税抜きで25,646,000円であり、出勤会員への支払いは平成29年12月14日に完了した。台風21号に関する三郷町の災害査定は30年1月12日に終了した。